

ハタオリマチのお土産が完成しました！

山梨ハタオリ産地(富士吉田市・西桂町)をPRするための産地のノート” HATAORIMACHI NOTE BOOK ”を発売します。山梨県絹人織織物工業組合が富士急行線富士山駅にハタオリマチ案内所として移転する5月1日に合わせて、ノートの先行販売することになりました。生地デザインはmarimekkoやユニクロ等のデザインを手掛ける世界的なテキスタイルデザイナー鈴木マサルさんです。このノートは、1000年以上続く山梨ハタオリ産地を未来に繋げるためのプロジェクト、ハタオリマチのハタ印が絹人織織物工業組合と協力し、産地のジャカード織物を活用したデザインで技術力の高さをPRするために開発しました。

富士山が申年に誕生したという伝説から猿がモチーフになった「SARU(¥3,000税別)」は、『富士山』×『桜』×『五重塔』これぞNIPPONという風景が楽しめる場所をモチーフにしています。「JAPAN」とインターネットで検索すると、最初に表示される日本を代表する景色です。ヨコ糸を巧みに使い表現した「SHIKA(¥3,000税別)」部分的にヨコ糸を浮かせて織り、浮いた箇所を糸をカットすることで立体的なフサフサの柄になるカットジャカードの生地「HATAORI(¥3,900税別)」の全3種類。これらのノートは、一冊ずつ丁寧に国内で製本されており、筆運びがなめらかになる紙を選ぶなどノートの書きやすさにもこだわりました。各1000冊限定販売。一般発売は5月下旬です。



HATAORIMACHI NOTE BOOK <http://hatajirushi.jp/notebook>

テキスタイルデザイナー鈴木マサル氏 <http://masarusuzuki.com> <http://ottaipnu.com>

ハタオリマチのハタ印 <http://hatajirushi.jp>

イメージ式ダウンロード

Designer 鈴木マサル Masaru Suzuki

多摩美術大学染織デザイン科卒業後、栗辻博デザイン室に勤務。1995年に独立、2002年に有限会社ウンピアット設立。2005年からファブリックブランド OTTAIPNU(オッタイピヌ)を主宰。自身のブランドの他に、2010年よりフィンランドの老舗ブランド marimekko のデザインを手がけるなど、現在、国内外の様々なメーカー、ブランドのプロジェクトに参画。東京造形大学教授、有限会社ウンピアット取締役。

ハタオリマチのハタ印 総合ディレクター 高須賀活良

東京造形大学非常勤講師。モノづくりの始まりは「土」からであるというコンセプトのもと、原始布の研究をし、修士号を取得。アーティストとして国内外で作品を発表している他、織物産地でのテキスタイルデザイン、ファクトリーブランドの立ち上げなど幅広い分野で活動している。企画運営Art Director:毛利朋子/Design:TRICKY Inc.

【HATAORIMACHI NOTE BOOKの「取材・掲載」に関するお問い合わせは、下記までお気軽にご連絡ください】

運営: [ハタオリマチのハタ印](http://hatajirushi.jp) 山梨県絹人織織物工業組合 住所: 〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田2-5-1

WEB <http://hatajirushi.jp> E-mail | mail@hatajirushi.jp TEL | 0555-22-4193